



力強い太鼓の演奏で会場を沸かした猪駄天

伊那市との絆を深める

第52回高遠城下まつり

会津藩祖、保科正之公ゆかりの地である長野県伊那市(旧高遠町)の第52回高遠城下まつりは9月7日、同市で開かれ、町と町商工会が参加しました。ゆかりの地物産展では、本町の観光PRを行ったほか、町の特産品を販売。物産展には、多くの人々が訪れ、伊那市の皆さんと交流を深めました。また、本町から祭りに参加した会津猪苗代太鼓猪駄天が、迫力ある和太鼓の演奏で会場を盛り上げました。

全国からこけしファンが集結

第3回中ノ沢こけし祭り

中ノ沢こけしの魅力を発信するためのイベント「第3回中ノ沢こけし祭り」は9月8日、中ノ沢温泉街と中ノ沢体育館で開催されました。中ノ沢体育館では、こけしの販売や工人の紹介、絵付け体験や街歩きでスタンプを集めて景品が当たる抽選会などが行われ、多くの人で賑わいました。「中ノ沢系こけし」は、今年5月に開かれた日本最大級のこけしの祭典「日本こけしコンクール(宮城県白石市)」で、独立系統の伝統こけしに認定されました。



こけしの絵付け体験をする伊達市から訪れた親子



図工の時間に児童に声をかける学生(右)

町内の小中学校で教育支援

東京学芸大の学生がボランティア

本町と東京学芸大学は、「学生による教育支援ボランティア事業」を、9月2日から9月13日まで町内の小中学校で実施。7人の学生が、学習のサポートをしたり、休み時間には一緒に遊ぶなどして児童、生徒と触れ合いました。参加した学生は「先生の声かけ次第で子どもの反応が変わる。発する言葉を大事にした」「先生が子どもたちの意見を肯定しながら授業を進めていて、すごく良い環境だと感じた」など事業を振り返りました。

いつまでもお元気で

カメリーナで敬老の集いを開催

敬老の集いは9月14日、カメリーナで開かれ、町内の75歳以上の町民ら約300人が参加しました。式では、二瓶盛一町長と鈴木恵美子町婦人会長があいさつした後、代表者に記念品を贈呈。招待者を代表して鈴木庫男町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。引き続き行われた演芸では、町婦人会の皆さんやひまわりこども園の園児たちが舞踊や歌などを披露し、会場からは盛大な拍手が送られました。



代表で記念品を受ける宇川由美子さん(右)



パネルディスカッションで保科正之公に対する思いなどを話す白鳥市長(左)



高遠藩と会津藩について講演する松平氏

長野県伊那市(旧高遠町)と猪苗代町の親善交流書締結20周年記念式典は9月22日、学びいなかで行われ、出席者が交流の節目を祝うとともに、今後のさらなる交流の伸展を誓い合いました。

式典では、町親善交流事業実行委員会長の二瓶盛一町長があいさつし、同委員会委員長の神田功猪苗代観光協会会長が交流の経過を説明。会津松平家第14代当主の松平保久氏が祝辞を述べました。

式典後には、松平氏が「高遠藩と会津藩、保科正之公が紡いだ絆」と題して講演。このほか、高橋充県立博物館副館長をコーディネーターとして、松平氏と白鳥孝伊那市長、宮澤重剛土津神社禰宜、二瓶町長によるパネルディスカッションも行われました。

Pick Up

今月の話題

伊那市と交流 20周年記念

まちの応援マガジン いなわしろ 広報猪苗代

Oct.2024
10
No.768

今月の表紙



【撮影日】 9月5日
【撮影場所】 町営磐梯山牧場

東日本大震災の被災地に笑顔を広げていく活動「NEXT TOHOKU ACTION」が町営磐梯山牧場に制作したソバの花によるスマイルマークのフラワーアート。町では見ごろの時期(9月ごろ)に展望台を設置しています。

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 06 スクールトピックス/地域おこし協力隊通信
- 07 「燃やせるごみ」の減量にご協力ください
- 08 令和5年度決算
- 10 令和6年度猪苗代町人事行政運営等の状況
- 12 新型コロナウイルス感染症予防接種助成 ほか
- 14 水道料金・下水道使用料を改定します
- 15 教育委員会の活動状況に関する評価結果を公表します
- 16 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー



大会新記録まであと少しだった6年男子走り高跳び猪苗代の柴田慶さん



力走する6年女子100m第7組の選手

2種目で大会新記録

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は9月25日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内2小学校の児童が参加。会場には大勢の保護者らが応援に訪れ、子どもたちに盛んな声援を送りました。今年は2種目で大会新記録が誕生。5年男子100mで星慶汰さん(猪苗代)が、男子リレーで猪苗代Aチームが大会新をマークしました。主な結果は下記のとおりです(敬称略)。



5年男子100mで新記録を樹立した猪苗代の星慶汰さん(手前)

【男子】▶6年100m①柴田慶(猪苗代)13秒8▶6年80mハードル①古川真聖(猪苗代)15秒9▶6年1000m①堀結人(猪苗代)3分22秒8▶6年走り高跳び①柴田慶(猪苗代)1m34▶6年ジャベリックボール投げ①遠藤創太(猪苗代)50m69▶6年走り幅跳び①長谷川蓮絆(猪苗代二)4m27▶5年100m①星慶汰(猪苗代)14秒2=大会新▶5年80mハードル①根本純人(猪苗代)18秒1▶5年1000m①岩橋悠誠(猪苗代)3分32秒7▶5年走り高跳び①渡部朝陽(猪苗代二)1m05▶5年ジャベリックボール投げ①大竹偉央(猪苗代)44m00▶5年走り幅跳び①星慶汰(猪苗代)3m87▶400mリレー①猪苗代A 55秒1=大会新

【女子】▶6年100m①渡辺明衣菜(猪苗代)15秒2▶6年80mハードル①渡辺明衣菜(猪苗代)19秒4▶6年800m①二瓶彩加(猪苗代二)2分58秒7▶6年走り高跳び①長嶺陽菜(猪苗代二)1m20▶6年ジャベリックボール投げ①板橋なつめ(猪苗代二)24m51▶6年走り幅跳び①柵木蘭(猪苗代二)3m72▶5年100m①影山千歩(猪苗代)16秒2▶5年80mハードル①大友詩織(猪苗代)19秒2▶5年800m①大堀葵(猪苗代)2分46秒2▶5年走り高跳び①田中雪乃(猪苗代)1m05▶5年ジャベリックボール投げ①二瓶千織(猪苗代二)18m31▶5年走り幅跳び①渡部紗彩(猪苗代二)2m97▶400mリレー①猪苗代二A 1分00秒9

湖畔で音楽と芸術と食を楽しむ

オハラ☆ブレイク'24「愛でぬりつづせ」

オハラ☆ブレイク'24「愛でぬりつづせ」は9月28日、天神浜で開かれ、来場者は音楽や芸術とともにさまざまな食を楽しみました。地場産品を使ってメニューを提供した「猪苗代☆食堂」には、食を求め多くの人々が列を作っていました。町内から親子で参加した川上順子さんは「オハラブレイクは、いつもと変わらない顔ぶれと居心地の良さで迎えてくれる特別なフェスで、今年も最高に楽しかったです」と話してくれました。



セッションを見ようとメインステージの前に集まった大勢の来場者



ヒットを打ち塁上で笑顔を見せる山本学歩選手(中央)

町代表として全力を尽くす

第18回市町村対抗県軟式野球大会

第18回市町村対抗県軟式野球大会は9月14日から、福島市の信夫ヶ丘球場などで開かれ、参加した58市町村の代表チームが熱戦を繰り広げました。猪苗代町は9月14日に1回戦で須賀川市と対戦。試合は、須賀川市に三回に先取点を奪われ、四回、五回と連続して得点を奪われます。対する猪苗代町は、最終回に2つの四球と安打で無死満塁とし好機を作りましたが、後続が続かずゲームセット。0対3で、残念ながら1回戦で敗退しました。

町内で中学生が農業体験

猪苗代町の主産業である農業を学ぶ

猪苗代中2年の生徒約90人は9月18日、今年度3回目の農業体験学習を町内事業所などで行いました。総合的な学習の時間の一環で、以前は職業体験学習でしたが、学校統合を機に町の主な産業である農業について考え、体験するために農業体験学習に今年度から変更。実際にコンバインに乗って稲刈りを体験した生徒は「コンバインの操作は簡単だったけど、曲がるのが難しかった。貴重な体験ができて良かったです」などと話してくれました。



コンバインに乗って稲刈り体験をする生徒(右)



商品をPRした猪苗代支援学校の生徒と関係者ら

町の特産品を使って商品を考案

万能調味料「うまくてごめんな山菜」

猪苗代支援学校と吾妻食品は9月25日、同校で「うまくて生姜ねえ!!」の新味コラボ商品発表会を開きました。高等部の生徒が試作を繰り返し、山菜の食感がアクセントになることと食物繊維やビタミンが接種できることから、山菜入りの商品アイデアを吾妻食品にプレゼンして、商品開発に至りました。商品は10月4日から猪苗代町と磐梯町の道の駅で発売。順次、県観光物産館(福島市)と日本橋ふくしま館(東京)でも発売されます。

交通事故根絶に向けて

町交通安全町民大会

第27回町交通安全町民大会は9月28日、学びいなかで開かれました。町交通対策協議会長の二瓶盛一町長があいさつをした後、交通安全功労者や交通安全ポスターコンクールなどの表彰が行われたほか、日本自動車連盟福島支部の田代秀之氏が「ドライブレコーダーから見る安全運転」と題して講演しました。

参加者は、交通事故のない安全で快適な社会実現を目指した大会宣言を採択し、交通事故の根絶に向けて決意を新たにしました。



二瓶町長から表彰状を受ける大川原敏幸さん(左から2人目)ら